

ワンチーム日高ジャーナル



加藤将伍氏

日高の市議らが駆けつける中、加藤氏が県政挑戦への覚悟と決意を語った。加藤氏は高麗地区で育ち、法政大学を卒業後、大手不動産会社に就職。社会人7年目で管理職への昇進

予定者の新人

「買物の代金よりも、タクシー代の方が高い」という切実な声に接し、「誰もが安心して暮らせる、元氣な日高を創りたい」との思いで、新たな交通システム「おでかけワゴン」の実現に尽力した。一方、市議として活動を重ねる中で痛感したのが「市単独では乗り越えられない」との連携の壁だった。

(文化新聞 令和8年7月31日掲載)

託された思い胸に「日高の未来に責任持つ」
来春県議選西8区、日高市議の加藤将伍氏が出馬表明



7月26日(日)、加藤しょうごさんの「決意表明会」が開かれました。加藤さんは、**埼玉県政への挑戦**を表明。日高市内の会場には多くの市民や仲間が集まり、笑顔と熱気に包まれました。

『一人ひとりの声』が、政治の原点

今年で35歳の加藤さんは、日高市で生まれ育ち、大学卒業後は都内の不動産会社に勤務。お母さまの他界をきっかけにふるさとの日高へ戻りました。

政治を志す原点は、地域の高齢女性から聞いた「買物代より、タクシー代の方が高いのよ」という言葉でした。市議として最初の一般質問で公共交通を取り上げ、法定協議会の設置を提案。「おでかけワゴン」「おでかけタクシー」の実現にも力を尽くしました。

市議としての活動してきたこれまで、「**地域の声には、地域を変える力がある**」と信じて歩んできました。一方、交通や駅周辺のまちづくり、農地活用、子育て、福祉など、市だけでは解決が難しい課題にも直面。「市と県がもっと手を取り合い、日高の声を県政へ届けたい」との思いが、今回の挑戦につながりました。

みんなでつくる「ワンチーム日高」

今回の挑戦を支えるのは、地域を思う市民の皆さんや市議会の仲間たちです。大塚拓衆議院議員も「加藤さんは、アドバイスを吸収し成長できる人。日高市の未来に欠かせない存在です」とエールを送りました。登壇した市議たちも、誠実な人柄と行動力への信頼を語りました。市民とワンチームになったの取り組みには大きな関心も寄せられました。

託された想いを力に

加藤さんは、民間でつちかった経営感覚と市議の実績を胸に、日高の未来のため県政へ挑みます。参加者の温かな拍手には、**新しい日高への期待**が込められていました。

「決意表明会」のダイジェスト動画を配信中

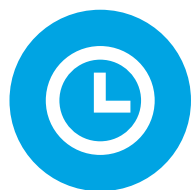




加藤しょうごさん



日高とともに35年



地域の課題、日高の未来を 一緒に語りましょう！

どなたでも
どの会場でも
参加できます

タウンミーティング開催日時		会場
9月 5日 [±]	10:00~11:30	高麗公民館
9月 12日 [±]	15:30~17:00	高萩公民館
9月 20日 ^日	15:30~17:00	高萩北公民館
9月 26日 [±]	16:00~17:30	高麗川南公民館
10月 3日 [±]	15:30~17:00	高麗川公民館
10月 10日 [±]	15:30~17:00	武蔵台公民館

私たちもワンチームで日高市の未来を考えます。

日高市議

商工会の仲間

地域の仲間

小中の同級生

地元衆院議員

日高市議



横尾 貴文さん



五十嵐さん



山口さんご家族



かおりさん・みさきさん



大塚 拓さん



和田 貴弘さん

日高市議

日高市議

日高市議

日高市議

日高市議

日高市議



新井 均さん



加藤 大輔さん



森崎 成喜さん



金子 博さん



山田 一繁さん



大澤 博行さん



皆さまの集まりにも
お伺いします。ぜひ、
お声がけください。



ワンチーム日高
ホームページ



note



ご意見箱
メール



ワンチーム日高 設立趣旨

私たちは、**日高市の発展と市民生活の向上**を実現するため、
これからの「暮らし」を皆さまと語る・考える機会をつくり、
政策提言を通じて市政・県政につなげていきます。

ワンチーム日高
代表
石井 幸良
(元日高市議)



この機関紙は、埼玉県政・日高市政のあり方や、
今後あるべき姿などを提言するとともに、ワン
チーム日高の活動を市民の皆様にお知らせし、
埼玉県と日高市のより良い発展に資することを
目的に発行しています。